

主要地方道松山港線(松山観光港アクセス道路) 高浜トンネル



主要地方道 松山港線
(松山観光港アクセス道路)

高浜トンネル

松山市 高浜町～石風呂町

平成16年1月
愛媛県

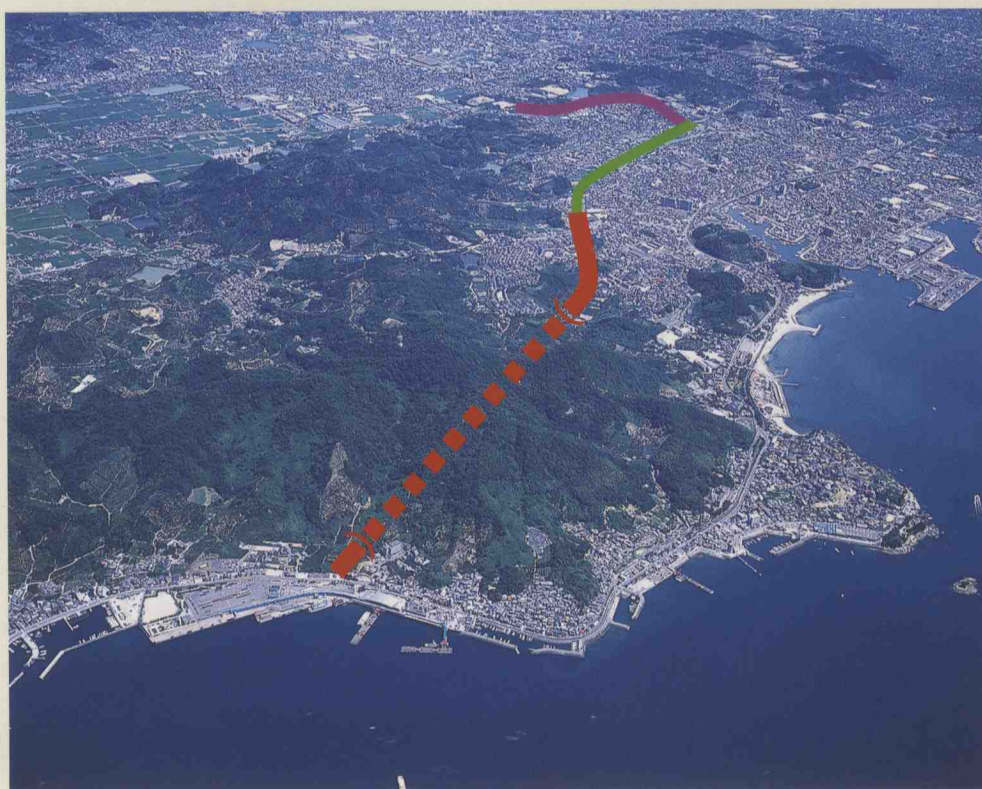
松山観光港アクセス道路の概要

愛媛県の海の玄関松山観光港と松山市中心部を結ぶ主要地方道松山港線は、近年の交通量の増大と車両の大型化に伴い、人家が連担する三津地区で慢性的な交通渋滞をきたしております。特に朝夕の通勤通学時には、松山観光港への到着時間が予測できない事態や、交通事故の多発等、幹線道路としての機能が著しく損なわれている状況となっています。

このため、県では新たなアクセス道路として、延長4,250mの松山観光港アクセス道路の整備に取り組み、平成3年度より県道辰巳伊予和気停車場線から国道437号までの延長1,940mに着手し、既に平成12年3月に供用を開始しております。

さらに、平成10年度より、松山市石風呂町の県道辰巳伊予和気停車場線から松山観光港までの延長2,310mの事業にも着手し、平成12年9月には高浜トンネル(延長1,530m)に着工するなど工事を全面的に展開し、このたび、平成16年1月に全区間が完成することになりました。

このアクセス道路の完成により、松山観光港と松山市中心部の間において円滑で快適な交通の確保が図られるとともに、物流や人の交流が盛んになる等、産業を支える基幹道路としても地域の発展に大いに寄与するものと期待されています。



事業の経緯

平成10年4月	道路改築事業着手 (松山観光港～県道辰巳伊予和気(T)線)
平成12年9月	高浜トンネル工事着手
平成14年6月	高浜トンネル貫通
平成15年9月	高浜トンネル完成
平成16年1月	完成供用

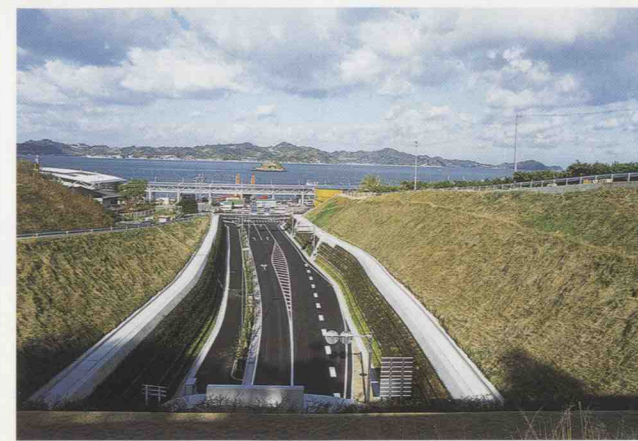


貫通の瞬間

トンネルを抜けると そこは松山観光港



高浜側坑口から観光港方面



高浜トンネルを抜け、左折すると観光港ターミナルビル、右折をするとフェリー乗り場に到着です

高浜側坑口付近



高浜側の坑口周辺や切土擁壁には緑化を行うことでゆとりと潤いを演出しました

石風呂側坑口付近

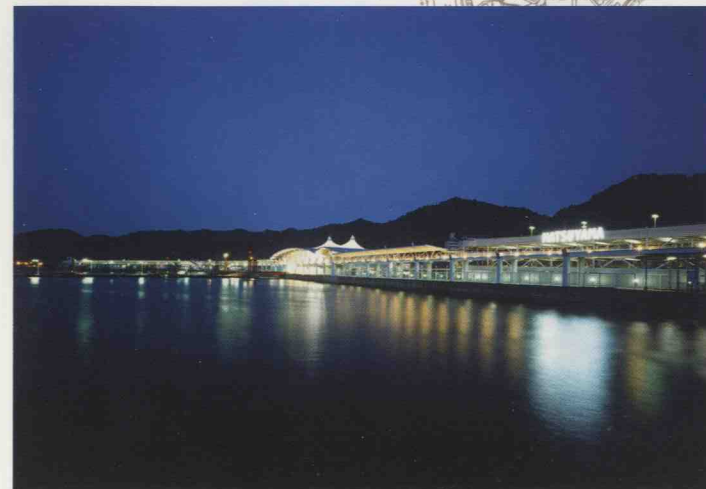


トンネル坑口はコンクリート壁を使わない竹割式を採用し、ドライバーが感じる圧迫感や抵抗感の無い構造にしました

石風呂側一般道



植樹帯には、クログナモチを植樹し良好な生活環境を確保するとともに、車道部の排水性舗装によって道路周辺への騒音低下にも配慮しました



夜の観光港ターミナルビル



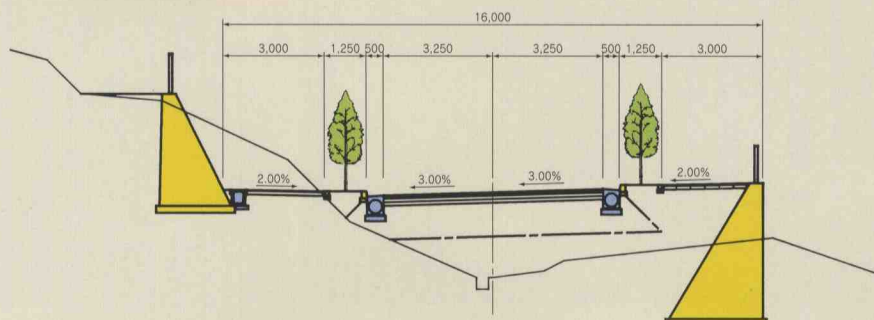
観光港の新交差点付近

計画諸元

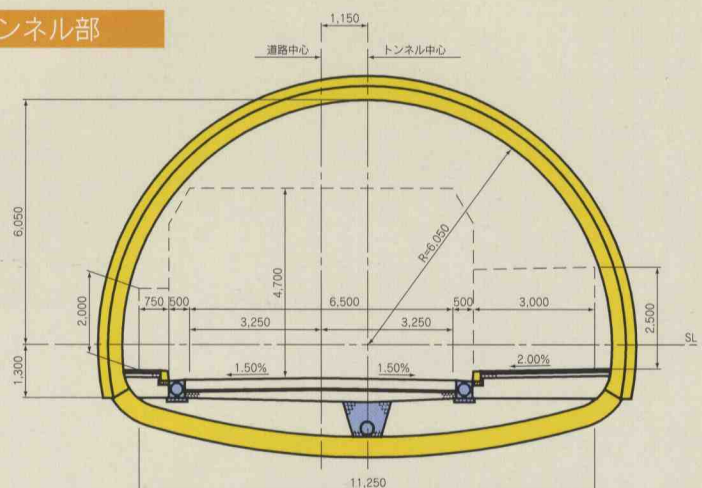
道路規格		第4種第1級
設計速度		50km／時
工事延長		2,310m
一般部	延長	780m
	幅員	(16.00)m 6.50m
	曲線半径	R=500m
	縦断勾配	2.20%
高浜トンネル	延長	1,530m
	幅員	(11.25)m 6.50m
	曲線半径	R=500m
	縦断勾配	1.818% 0.500%
	掘削工法	ナトムショート ベンチカット工法

標準断面図

一般部

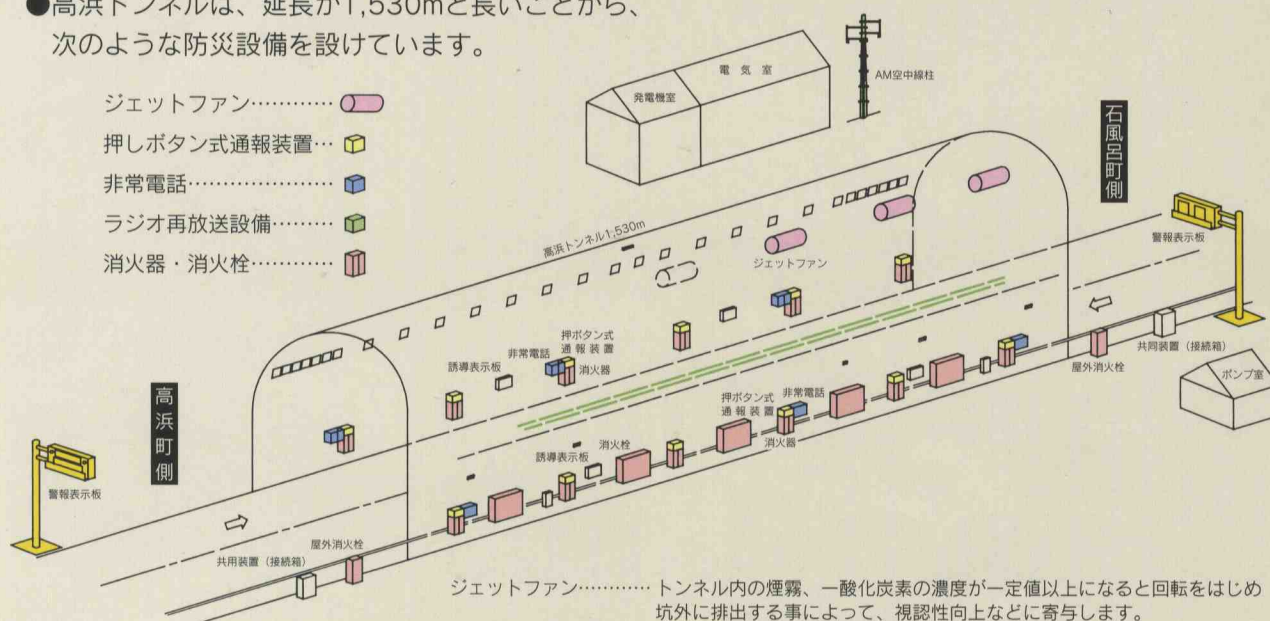


トンネル部



高浜トンネルの防災設備

- 高浜トンネルは、延長が1,530mと長いことから、
次のような防災設備を設けています。



ジェットファン……………トンネル内の煙霧、一酸化炭素の濃度が一定値以上になると回転をはじめ坑外に排出する事によって、視認性向上などに寄与します。

押しボタン式通報装置…トンネル内での火災や事故発生時に押す事により、消防署、警察署及び松山地方局に通報できます。同時に、トンネル両坑口の警報を表示し、進入車両に危険を知らせます。

非常電話……………事故発生時に、消防署、警察署と通話することができます。

ラジオ再放送設備……………トンネル内で、事故や規制に関する情報が受信できます。

消火器・消火栓……………約50m毎に設置し、初期消火に備えます。

イラストマップ

松山観光港アクセス道路沿線図



事業についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

愛媛県松山地方局建設部

〒790-8502 松山市北持田町132 TEL(089)941-1111(代)